



玄関のメッセージ

最近、「ずっと読みたい 0才から100才の広告コピー」という本を読みました。本の冒頭には、次のような文章が書かれています。

0才から100才まで、その年齢にぴったりの「広告コピー」を並べてみたら、大切なことを思い出させる素敵な名言集ができました。

この言葉通り、読んでいくと心に残る言葉にたくさん出会いました。下に紹介した「玄関のメッセージ」もその一つです。

玄関には、その家の性格がでる。
脱ぎっぱなしの靴のない玄関が
やっぱり素敵だし、理想だと思うけれど。
家族全員が几帳面でないと
なかなか難しい。

だけど、靴のある玄関だって、わるくはない。
家族が一足ずつ、靴を脱いだ玄関も。

ただいま、と、ドアを開けたとき。
あ、おとうさんがもう帰ってきてる、とか。
あれ、おかあさんは買い物かな、とか。
わかるから。

女きょうだいしかいないわが家の玄関に
見たことのない大きなスニーカーがあったとき。
おとうさんは、びっくり、ドキドキしたそうです。

読んでいて、確かにそうだなと感じました。私自身は、何もないすっきりした玄関が好きです。ですから靴は必ず靴箱になおします。でも、家族全員がそうなることは難しい。

せめてきちんと並べてほしいと思うのですが、玄関を開けると、靴が散乱していることがよくありました。

走って帰ってきた様子、そのまま家に駆け込んでいった様子が目に浮かびます。当時はよく注意をしましたが、今思えば懐かしいで

す。玄関に生活の様子があらわれますよね。

妻と二人だけになった我が家に、久しぶりに息子が帰ってきました。二ヶ月間ほどこちらで仕事があるそうです。玄関に大きなスニーカーと革靴がある。それもなかなかいいもんだと感じています。

皆さんは、玄関からどんなメッセージを感じていますか？